

山仕事くらぶ活動記録

平成28年10月20日(木)	天候 晴れ	記録者 石川正樹
参加人員 8名	ゲスト なし	
活動場所 滝沢市・鬼越のせいご山	山林所有者 吉田 テイ 様	
活動内容 つばめ幼稚園の「森のようちえん」のための整備	活動面積/総面積 4a / 3h	

10月29日に開催されるつばめ幼稚園の「森のようちえん」行事のために枯れたスズタケの刈払い、遊具と看板の設置をしました。

バス広場でストレッチ運動をし、作業内容の説明のあとケヤキ坂を登った松林に移動する。尾根近くでは刈払い機3台を使い、枯れ笹刈りと、枯枝の片づけなどをするが、枯笹は乾燥して硬くなっているため、回転刃が滑って苦戦していた。別働隊が刈りとった笹を整理すると林がきれいに甦った。

お昼は山主さんから小岩井農場産鶏卵のゆで卵などの差入れがあり、いただいた岩谷堂羊羹と抹茶の相性が良く午前の疲れも取れた。

午後は「森のようちえん」行事のためのバス広場周辺の整備と平賀理事長手製の看板とブランコの設置をする。秋色の森の中、楽しく作業ができました。また、バス広場付近の栗が大豊作で自宅へのおみやげはズッシリ重いものになりました。

あらためて山の恵みと山仕事に感謝！



めずらしい現象？

スズタケに花が咲くのは120年に一度ともいわれ、花が終わると一斉に枯れます。

→ 稲の花にそっくり



昨年秋に伐採した栗の大木は看板に変身し、枯れた栗の木は看板の支柱に活用



右：廃棄ホースの二次利用、何に甦るのか
左：「天然ブランコ」を設置



今年度3回目のつばめ幼稚園の「せいご山であそぼう会」が行われ、皆さんが整備した森に子供たちの歓声が響きました。



園長先生に「せいご山看板」を贈呈



ツリークライミングの体験会



九月にモンゴル村で作った野鳥の巣箱を設置しました



煙に燻されながら焚火の燠でネジネジパンを焼く

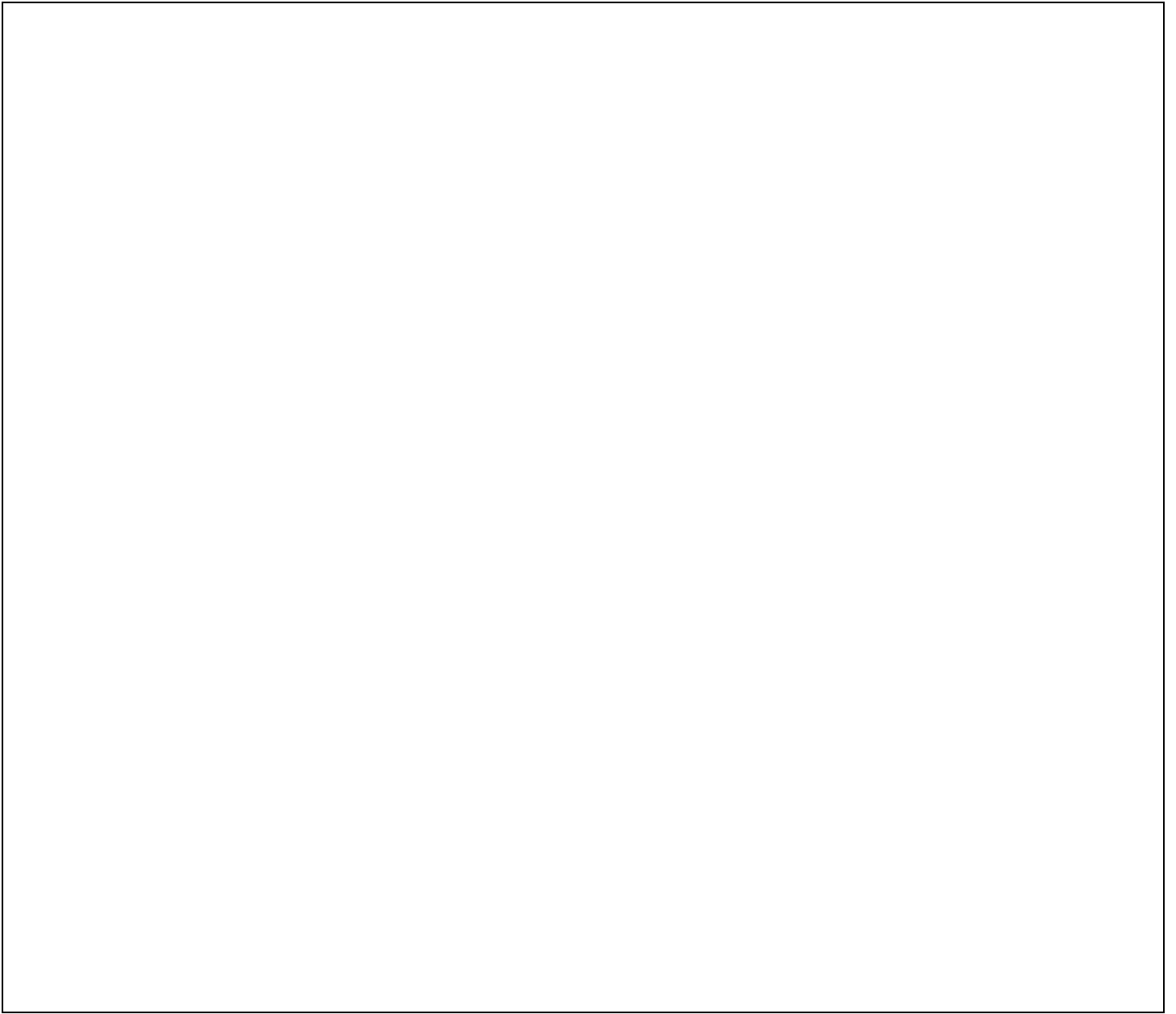


サルナシの蔓でターザンごっこ



栗の木で作った素朴なシーソー
不完全さが子供の感性を育てる





収穫は来年の秋？